



平成25年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 アイカ工業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長

(氏名) 百々 聡

四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 052-409-8261

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	22,303	9.9	2,242	23.8	2,371	22.9	1,297	11.0
24年3月期第1四半期	20,303	6.2	1,810	23.0	1,930	22.8	1,168	41.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,102百万円 (1.7%) 24年3月期第1四半期 1,120百万円 (120.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	19.88	19.86
24年3月期第1四半期	17.91	17.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	100,796	76,296	74.7
24年3月期	102,997	76,191	73.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 75,331百万円 24年3月期 75,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		17.00		17.00	34.00
25年3月期					
25年3月期(予想)		17.00		17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期中間配当金17.00円には、2円の記念配当を含んでおります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,250	5.0	4,900	6.4	5,000	6.0	2,950	7.9	45.21
通期	100,000	5.2	11,300	7.0	11,500	6.8	6,800	13.6	104.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	67,590,664 株	24年3月期	67,590,664 株
期末自己株式数	25年3月期1Q	2,338,197 株	24年3月期	2,338,061 株
期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	65,252,501 株	24年3月期1Q	65,253,237 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . サマリー情報 (注記事項) に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や、住宅エコポイント制度およびエコカー補助金制度などの政策効果もあり、緩やかに持ち直してまいりました。しかしながら、欧州政府債務問題や円高の継続、電力供給の制約懸念などの影響もあり、先行き不透明感が残る状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、顧客に密着した営業活動をさらに強化するため、営業組織の見直しを行うとともに、市場ニーズにマッチした新商品開発、非建築分野および海外市場への取組強化などを推進いたしました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高22,303百万円（前年同四半期比9.9%増）、営業利益2,242百万円（前年同四半期比23.8%増）、経常利益2,371百万円（前年同四半期比22.9%増）、四半期純利益1,297百万円（前年同四半期比11.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

(化成品セグメント)

接着剤系商品は、木工・家具向け汎用接着剤が低迷したものの、合板用接着剤および建築施工用接着剤、ならびに新規分野として取り組んでいる自動車向け接着剤やシリコン樹脂系接着剤が海外を含め順調に推移し、全体として売上を伸ばすことができました。

樹脂系商品は、塗床材と外装・内装仕上塗材「ジョリパット」が、市場の回復や改修市場への積極的な展開を進めたことにより売上を伸ばすことができました。なお、有機微粒子は前年の震災直後の化粧品向け需要が落ち着いたことにより、売上は減少いたしました。

このような結果、売上高は7,791百万円（前年同四半期比2.4%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）563百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。

(建装材セグメント)

建装材商品は、汎用性の高い単色メラミン化粧板シリーズ「カラーシステムフィット」、高い意匠性と指紋などの汚れが目立ちにくい特性を持つメラミン化粧板「セルサス」、耐摩耗性・耐汚染性などの機能に優れる化粧ボード「マーレスボード」など特徴ある商品が好調に推移いたしました。また、メラミン化粧板・不燃化粧材・フィルムシート材など異なる素材で同一の色柄によるコーディネートができる当社商品の利便性を提案することにより、医療・福祉施設など公共性が高い物件の需要を取り込むことができました。海外では、昨年11月に事業買収を行ったアイカ・ラミネーツ・インドア社の売上高が連結に寄与いたしました。

このような結果、売上高は6,152百万円（前年同四半期比18.7%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）1,093百万円（前年同四半期比21.8%増）となりました。

(住器建材セグメント)

不燃化粧材「アイカセラル」と、メラミン化粧板を曲面加工（ポストフォーム加工）したカウンターやメラミン扉は、集合住宅向けと医療・福祉施設向けの需要が増え、好調に推移いたしました。

また、多彩なコーディネートができる収納家具「アイキャビ」や、医療介護施設・高齢者向け住宅に適した機能引戸である「UD（ユニバーサルデザイン）コンフォートシリーズ」は、売上を大きく伸ばすことができました。

このような結果、売上高は6,999百万円（前年同四半期比15.2%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）1,003百万円（前年同四半期比34.5%増）となりました。

(電子セグメント)

電子材料は、海外向けを中心に光学フィルム向けUV（紫外線）硬化型ハードコート樹脂「アイカイトロン」、タッチパネル向け高機能フィルム「ルミアート」は売上を伸ばすことができましたが、プリント配線板については、半導体関連・工作機械などの産業用途向けを中心に、依然として厳しい状況で推移した結果、全体としては売上、利益ともに減少いたしました。

このような結果、売上高は1,361百万円（前年同四半期比5.4%減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）150百万円（前年同四半期比3.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ2,201百万円(2.1%)減少し、100,796百万円となりました。主な資産の増減は「受取手形及び売掛金」が、2,685百万円減少したことと、「商品及び製品」が479百万円増加したことなどによるものであります。負債は前連結会計年度末に比べ2,306百万円(8.6%)減少し、24,499百万円となりました。主な負債の増減は「支払手形及び買掛金」が1,008百万円、「未払法人税等」が1,594百万円減少したことと、「賞与引当金」が546百万円増加したことなどによるものであります。純資産は前連結会計年度末に比べ104百万円(0.1%)増加し、76,296百万円となりました。主な増減は「四半期純利益」が1,297百万円となったことと、剰余金の配当を実施したことによる1,109百万円の減少及び「其他有価証券評価差額金」が145百万円減少したことなどによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.5ポイント増加し、74.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、平成24年度4月27日公表の業績予想からは変更ありません。景気の先行きは不透明感を増しており、今後の景気の動向によって第2四半期連結累計期間及び通期の業績見込みについては見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,114	30,133
受取手形及び売掛金	36,884	34,198
商品及び製品	3,774	4,253
仕掛品	292	349
原材料及び貯蔵品	1,922	2,013
その他	2,654	2,867
貸倒引当金	175	141
流動資産合計	75,467	73,674
固定資産		
有形固定資産	16,820	16,654
無形固定資産	1,184	1,113
投資その他の資産		
その他	10,041	9,870
貸倒引当金	516	516
投資その他の資産合計	9,524	9,353
固定資産合計	27,529	27,121
資産合計	102,997	100,796
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,237	17,228
短期借入金	274	135
未払法人税等	2,388	793
賞与引当金	1,307	1,853
その他	2,970	2,815
流動負債合計	25,177	22,826
固定負債		
長期借入金	473	590
退職給付引当金	239	189
その他	915	893
固定負債合計	1,628	1,673
負債合計	26,805	24,499

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,269	13,269
利益剰余金	54,608	54,796
自己株式	2,588	2,571
株主資本合計	75,181	75,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	644	498
繰延ヘッジ損益	3	6
為替換算調整勘定	443	547
その他の包括利益累計額合計	198	54
新株予約権	27	47
少数株主持分	785	917
純資産合計	76,191	76,296
負債純資産合計	102,997	100,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	20,303	22,303
売上原価	14,662	15,964
売上総利益	5,640	6,339
販売費及び一般管理費	3,830	4,097
営業利益	1,810	2,242
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	91	94
その他	80	93
営業外収益合計	179	196
営業外費用		
支払利息	1	1
売上割引	18	21
その他	39	43
営業外費用合計	59	66
経常利益	1,930	2,371
特別利益		
固定資産売却益	5	-
その他	0	-
特別利益合計	6	-
特別損失		
固定資産処分損	7	-
投資有価証券評価損	10	184
災害による損失	8	-
特別損失合計	25	184
税金等調整前四半期純利益	1,910	2,187
法人税、住民税及び事業税	806	779
法人税等調整額	77	74
法人税等合計	728	853
少数株主損益調整前四半期純利益	1,181	1,333
少数株主利益	13	36
四半期純利益	1,168	1,297

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,181	1,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	145
繰延ヘッジ損益	13	3
為替換算調整勘定	49	82
その他の包括利益合計	61	231
四半期包括利益	1,120	1,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,092	1,044
少数株主に係る四半期包括利益	28	57

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	化成品	建装材	住器建材	電子	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,605	5,184	6,074	1,439	20,303	-	20,303
セグメント間の内部 売上高又は振替高	595	346	-	-	941	941	-
計	8,201	5,530	6,074	1,439	21,245	941	20,303
セグメント利益	508	897	746	155	2,307	497	1,810

(注)1 セグメント利益の調整額 497百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 497百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	化成品	建装材	住器建材	電子	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,791	6,152	6,999	1,361	22,303	-	22,303
セグメント間の内部 売上高又は振替高	611	437	-	-	1,048	1,048	-
計	8,402	6,589	6,999	1,361	23,352	1,048	22,303
セグメント利益	563	1,093	1,003	150	2,810	568	2,242

(注)1 セグメント利益の調整額 568百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 568百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。